

週 報

2025 年 1 月 19 日 No. 3000

日本キリスト教団 六ツ川教会

牧 師

桐 藤 薫 (きりふじ かおる)

集 会 場 所 横浜市南区六ツ川 2-125-13

通 信 先 TEL 045-713-5563

ホームページ <https://mutsukawa-church.com>



【年間主題聖句】

何事も愛をもって行いなさい。

(コリントの信徒への手紙Ⅰ 16 章 14 節)

【今週の聖句】

イエスは、「わたしについて来なさい。人間をとる漁師にしよう」と言われた。二人はすぐに網を捨てて従った。

(マタイによる福音書 4 章 19-20 節)

降誕節第 4 主日礼拝

2025 年 1 月 19 日(日) 午前 10 時半より

礼拝の進行中、起立や着席がありますが、それが困難な方はどうぞ着席のまま礼拝にご参加ください。

司式・説教 桐藤 薫 牧師

奏 楽 小林 君代 聖書朗読 半澤 裕子

【神の招き】

前 奏

招 詞

賛 美 「恵みにかがやき」 (288) 1・2・3・5 節

回 心 の 祈 り 「キリエ・エレイソン」 (31)



赦しの宣言

頌 栄 「み栄えあれや」 (28)

GLORIA PATRI
曲：Charles Meinecke, 1782—1850



みさかえあれや、ちちと子とせいれいに、は

じめもいまもとわにかわず、みかみにアーメン、アーメン。

(♩ = 54)

【神の言葉】

祈 り

聖書朗読

【新約聖書】 マタイによる福音書 4章 18-25 節

¹⁸ イエスは、ガリラヤ湖のほとりを歩いておられたとき、二人の兄弟、ペトロと呼ばれるシモンとその兄弟アンデレが、湖で網を打っているのを御覧になった。彼らは漁師だった。¹⁹ イエスは、「わたしについて来なさい。人間をとる漁師にしよう」と言われた。²⁰ 二人はすぐに網を捨てて従った。²¹ そこから進んで、別の二人の兄弟、ゼベダイの子ヤコブとその兄弟ヨハネが、父親のゼベダイと一緒に、舟の中で網の手入れをしているのを御覧になると、彼らをお呼びになった。²² この二人もすぐに、舟と父親とを残してイエスに従った。²³ イエスはガリラヤ中を回って、諸会堂で教え、御国の福音を宣べ伝え、また、民衆のありとあらゆる病気や患いをいやされた。²⁴ そこで、イエスの評判がシリア中に広まった。人々がイエスのところへ、いろいろな病気や苦しみに悩む者、悪霊に取りつかれた者、てんかんの者、中風の者など、あらゆる病人を連れて来たので、これらの人々をいやされた。²⁵ こうして、ガリラヤ、デカポリス、エルサレム、ユダヤ、ヨルダン川の向こう側から、大勢の群衆が来てイエスに従った。

応 答 唱 「すべての人よ」 (46) 《着席のまま2回歌う》



説 教 「ついて行く」

賛 美 「ほめたたえよう」 (464)

【感謝の応答】

信 仰 告 白 (使徒信条)

われは天地の造り主、全能の父なる神を信ず。我はその独り子、我らの主、イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりてやどり、処女マリアより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死にて葬られ、陰府にくだり、三日目に死人のうちよりよみがえり、天に昇り、全能の父なる神の右に座したまえり、かしこより来たりて、生ける者と死ねる者とを審きたまわん。我は聖霊を信ず、聖なる公同の教会、聖徒の交わり、罪の赦し、身体のよみがえり、永遠の生命を信ず。アーメン。

とりなしの祈り



奉 献
主 の 祈 り

天にまします我らの父よ、ねがわくはみ名をあがめさせたまえ。み国を来ら
せたまえ。みこころの天になるごとく、地にもなさせたまえ。我らの日用の
糧を、今日も与えたまえ。我らに罪をおかす者を 我らがゆるすごとく、我
らの罪をもゆるしたまえ。我らをこころみにあわせず、悪より救い出したま
え。国とちからと栄えとは 限りなくなんじのものなればなり。アーメン。

【派 遣】

報 告
賛 美
祝 福
後 奏

「心に愛を」 (88)